

～子供の声を聴こう！これからの学校づくり～



魅力だより



No.4

R7.1月

高校教育課学校教育生徒指導班

3学期が始まり2週間程経ちましたが、子供たちの様子はいかがですか。

No.3で紹介しました川内北中学校の取組について、市町村教育委員会や学校から問合せをいただきました。各学校で、「魅力ある学校づくり」に、熱心に取り組んでいただきありがとうございます。

今回は、学校全体で「魅力ある学校づくり」に取り組んでいる鹿児島市立福平小学校、日置市立土橋中学校の取組・状況を中心に紹介いたします。

ぜひ、今後の取組の参考にしていただけるとありがたいです。

鹿児島市立福平小学校の取組

学校だよりで「生徒指導の四つの視点」を紹介

福平小学校(全校児童数1,137人)では、「**全職員で子供を主語に、共通言語で語る職場に**」を合い言葉に、生徒指導の四つの視点を意識した授業づくりに取り組んでいます。

学校だより おおくす 4月号 (一部抜粋)

時代の要請に応じて教育の質を高めるために、「生徒指導の四つの視点」を強く意識することを教職員と確認しました。この四つの視点とは、①自己存在感の感受(※自分は必要とされている、役に立っているという自覚)への配慮、②共感的な人間関係の育成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土の醸成です。教職員が子供たちに関わる中で、この四つの視点を意識することで、鹿児島市が重視している子供たちの非認知能力(やる気、忍耐力、協調性、自制心など、人の心や社会性に関する力)の向上につながることを期待しています。



校内研修の充実(同僚性を生かした授業づくり)

「**同僚性を生かした授業づくり**」を大切に、職員の話合いにおいても、「**四つの視点**」を意識しています。

四つの視点を意識した職員研修の実施

- ① 七つのチームに分かれて授業づくり
- ② チームの話合いにおいても、「自己存在感の感受」、「共感的な人間関係の育成」、「自己決定の場の提供」、「安全・安心な風土の醸成」の四つの視点を意識
 - 授業者の思いを尊重しながら、**チームで授業をつくる「同僚性を生かした授業づくり」**を行った。

授業者	教科等	校時・場所	単元・題材名	先生方より一言
〇〇教諭	道徳	2校時 4の3	相手のことを考えて 教材名「ちこく」 内容項目B 相互理解、寛容	「つかむ」と「ふりかえる」での 児童の気持ちの変化を見てください。
〇〇教諭	国語	2校時 6の4	構成を考えて、提案する文章を書く 教材名「デジタル機器と私たち」	話し合いをして、よりよい発見を まどめるところが見どころです。
〇〇教諭	道徳	3校時 3の5	しまりを守る 教材名「しまりは だれのため?」 内容項目C 規則の尊重	楽しんで授業します!
〇〇教諭	社会	3校時 5の2	あたたかい土地のくらし	写真から観光家の課題を どう読みとるかが見どころです。
〇〇教諭	体育	5校時 体育館	ベースボール型ゲーム ティーボール	目指せ!共感的な集団!!
〇〇教諭	算数	5校時 6の3	分数÷分数 分数どうのわり算の 意味やしかたを考えよう	チームカ アップ!!
〇〇教諭	学活	5校時 6の5	学級目標を決めよう	1学期の学級の発展を見てください!



【司会者が意識した点】

- ・どの先生も発言ができていけるかな。
- ・誰もが意見を言いやすい雰囲気づくりができていけるかな。

【授業づくりの様子】

- ・「この位置で子供たちからは見えませんか。」「もう少し、上がいいかな。」
- ・「〇〇さんには、～な声掛けをしたら、いいんじゃないかな。」
- ・「〇〇先生、何か困っているところはない? 私、これを作ろうか?」

四つの視点を意識した授業づくり

- ① 指導案に四つの視点を明記する。
- ② 四つの視点を意識した授業を行う。
- ③ 教師の手立てを四つの視点で捉え直す。

→ ねらいに迫ることのできた児童の姿から、その児童の姿に繋がるための教師の手立てを見つけ、その手立てを四つの視点で捉え直す【右表】



授業研究では、指導案に表記されていなかった効果的な取組（下表：赤字）がたくさん上がってきました。

教師の具体的な働きかけの分類

※ ◎◎は、チーム内でとくに評価された取組

黒字：指導案に記載されていたもの

赤字下線：授業研究の中で出てきた新たにチームで見取ったもの

教科	視点①自己存在感の感受への配慮	視点②共感的な人間関係の育成	視点③自己決定の場の提供	視点④安心安全な風土の醸成
社会	児童による板書	◎ちがいに気付くための考えを共有する場 ◎ロイロノートの写真付きワークシート準備	資料選択と一人調べの場 子どもたちの言葉によるめあて・まとめの作成の日常化 適切な発問(事前に想定) 友だちのものをまねることを許可する 活用する資料写真の準備	ちがいに気付くための考えを共有する場 板書による見通しをもった学習 教師・児童同士による日常的な言葉のキャッチボール
国語	意図的な班構成 振り返りの際の一人一人への関わり	視点を意識した傾聴の場	活動を焦点化させるためのテーマの分類 ◎日常的な共有ノート活用	見通しの揭示 不明な点の確認 聞き方名人(聞き方のルール)の確認 話し合えるための事前の分類 学級の雰囲気
道徳(3年)		道徳的諸価値理解 ◎聞き方名人の徹底	データの視覚化 視点を与えた自由記述	道徳的諸価値理解 ◎日常的な協力する仕組
道徳(4年)	気付いたことを板書させる	判断基準の違いに触れる場	各自の思いの明確化 ロイロノートの活用 発問の工夫 ◎心情パロメーターを元に、話す場	多角的に捉える場の設定 児童のつぶやきを拾う ◎心情パロメーターを元に、話す場

成果 ※ 魅力ある学校づくりに取り組んだ主な成果を2点紹介!!

- ① 生徒指導を内在化させた授業づくりに取り組むことで、相手の立場に立って考える子供の言動が増えるなど、学校生活における共感的な人間関係づくりにより影響が出てきている。
- ② 多様な考えを尊重する議論を重ね、分析して考えることの大切さを実感したり、今後の取組の方向性を揃えたりすることで、教職員の同僚性が向上しつつある。

紹介コーナー

日置市立土橋中学校の取組

日置市では、意識調査を「子どもの声調査」として全学校で実施し、市全体で「魅力ある学校づくり」に取り組んでいます。



Beautiful Flower プロジェクト

土橋中では、「子どもの声調査」の結果を基に、「互いに認め合い、ともに学び合う集団づくり」に取り組んでいます。

【具体的な取組】

・学校行事や地域とつながる活動をプロジェクト化し、企画の段階から生徒が参画。

【成果】

・教師が、子ども一人一人に応じた声掛けを具体的にを行い、一人一人を認めることで、子どもたちは「自己有用感」を獲得。

・不登校の生徒数が減少(R4, R5は年度末の人数)

R4:4人 → R5:1人 → R6:0人(12月末現在)

各学校では、取組を進める中で、不明なことや疑問に思うことが出てくることと思います。ちょっとしたことでも、どうぞお気軽にお尋ねください。(市町村教育委員会、各学校からでも大丈夫です。)

【連絡先】 高校教育課学校教育生徒指導班 (梶原・福元)

TEL 099-286-5532

Email seitosidou@pref.kagoshima.lg.jp

